

背比べ

岩手県北上市立飯豊小学校 六年

藤田 ふじた

呂偉主 ろいす

お母さんの身長百六十四センチ
小さいころはいつも見上げていた

六年生になった今、気づいたら

目線が一緒だった

鏡の前でお母さんと背比べをしてみた

あと二センチくらいで追いこせそうだ

それから毎日のように鏡の前で

背比べをしていた

「あと少し、あと少し」

追いこせそうで追いこせない日が続いた

ある日、お母さんと会話をしていたら

僕のほうが目線が高いことに気がついた

急いで鏡の前でお母さんと背比べをした

「よっしゃ、こしたぜ」

と、僕はさげんだ

「こされたー」

と、お母さんが言った

そしてすぐ

「やっぱりか、足の大きさも二センチこし

てたもんね」

と喋っていた

僕はにやりと笑った

僕は身長も足の大きさもお母さんに

勝ったことがうれしかった

と、よろこんでいる僕に

「あんた、お母さんのおいしい手料理を食

べてるから、大きくなったんでしょ」

と、上から目線で言ってきた

確かにそうだな

お母さんの手料理は

当分追いこせそうにないな